

5. 安全検査室の構造・写真

図4・5の写真は、19年前（1991年）に設計し現在築後16年の阪大病院の微生物安全検査室です。BSL（バイオセーフティレベル）-2,3の前室、空調設備、安全キャビネット、両面オートクレーブなどを紹介しています。通常の検査室では、BSL-2レベルで十分ですが、結核検査（培養＋耐性検査）を行っている検査室では、図4・5に示すようなBSL-3レベルの設備が必要です。

* 注意：BSL-2,3の設備を導入した場合、HEPAフィルターの交換（1～2年）、定期点検（毎年）および安全キャビネットの交換（10年前後）が必要です。このため、メンテナンスや機器交換に関する予算を予め考慮しておくことが大切です。

図4.安全検査室（P-3）：阪大病院



気圧モニター盤



BSL-3 前室



BSL-3 室内

100%排気型安全キャビネット

設計：1991年

完成：1993年

大幅改修工事：2009年

- ・安全キャビネット入れ替え
- ・両面オートクレーブ入れ替え

図5.安全検査室（P-3）：阪大病院



P-3内両面オートクレーブ



結核専用フラスコ器



手洗い排水桶（滅菌用）



洗浄室側両面オートクレーブ